ライオン通信
<URL>http://www.kooge.jp/
Vol. 238　2023年10月10日発行

郡家コンクリート工業株式会社
〒680-0433 鳥取県八頭郡八頭町山上 363-17
TEL(0858)73-0500　FAX(0858)73-0535

日々進化⑱

私が敬愛する第一コンサルタンツの右城猛（うしろたけし）社長は、ホームページ『右城猛の日々進化』の中で「若手技術者に伝えたいこと」として仕事の流儀を書いていらっしゃいます。新入社員だけでなく、中堅、ベテランの方にも大いに参考になること請け合いです。ぜひお役に立てて下さい。
（２０２０年に上梓された『夢を追い求めて〈土木技術者編〉』でもご覧いただけます。）

日本精神

最近、阪急阪神ホテルズ、帝国ホテル、プリンスホテル、ザ・リッツ・カールトン大阪など一流ホテルによるメニュー偽装の記事が新聞紙上をにぎわしている。

このような記事を目にすると、『台湾を愛した日本人土木技師　八田與一（はったよいち）の生涯』という単行本の著者である古川勝三先生から教えていただいていた言葉を思い出す。台湾人がよく使うという「日本精神」である。

日本精神とは、

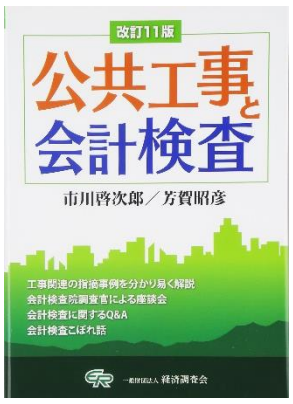
・嘘をつかない
・不正なお金は受け取らない
・失敗しても他人のせいにしない
・与えられた仕事に最善を尽くす　　の四つを意味している。

日本が台湾を統治していた時代に烏山頭（うさんとう）ダムを建設した八田與一は、嘉南大圳（かなんたいしゅう）の父と呼ばれ、台湾の中学校の教科書でも紹介されている。そして命日の５月８日には、與一の銅像と墓がある烏山頭ダムの湖畔で、地元の人々によって毎年慰霊祭が執り行われている。

私たちも日本精神をもち、八田與一のように民衆から敬愛される土木技術者になりたいものである。

（右城猛著『土木技術者に魅せられて』２０１３年より）

（１１月号に続く）



会 計 検 査

『公共工事と会計検査』の改訂 11 版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。
一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の**市川　啓次郎(いちかわ　けいじろう)氏**は昭和19年生まれ。
元会計検査院　国土交通総括検査室長を務められていました。
芳賀　昭彦(はが　あきひこ)氏は昭和30年生まれ。
現在、一般財団法人経済調査会技術顧問としてご活躍中です。

会計検査こぼれ話：　クラックに注意

コンクリート構造物のクラック発生は技術屋さんにとって悩ましい問題である。会計検査でも、しばしばコンクリートのクラックが問題になる。調査官達も、コンクリート構造物にひび割れがある程度発生するのはやむを得ないということは、一応理解している。それでも検査でクラックを見つけると、調査官の目つきはとたんに鋭くなる。

問題は、発生しているクラックが構造物にとって有害な程度のものかどうか、さらには進行性のものかどうかである。会計検査院でも各種文献等に基づいて、一般的土木構造物において許容できるクラックの目安は、0.2mm程度とする考えが支配的である(もちろん構造物によってはもっと小さなクラックでも有害性が大きい場合は別である)。

T県での検査で、調査官はボックスカルバート上部の道路に設置された壁高欄と地覆に大きなクラックが入っているのを発見した。クラックスケールを当てると、大きなものは 0.3mm以上あり、クラックは壁を貫いている。クラック発生の原因は、この壁高欄、地覆が延長 76mもあるのに、目地が 1 か所もないことにあった。施工した中堅ゼネコンは施工前の設計審査で、ボックス本体の方に目地が入っていないことを見つけ、こちらは是正したのだが、壁高欄、地覆の方までは気が付かなかった。本件は設計及び施工不適切として指摘された。

また、ある自治体では、会計検査前に検査対象の構造物の総点検を実地したところ、工場製作のコンクリート構造物にヘアークラックが発生しているのを発見した。早速、現場でクラックを赤チョークでなぞって写真を撮り、幹部にも報告した。工場に確認したところ、型枠の脱型が少し早いロットであることが判明した。しかし、クラック幅は小さく、進行性でもないことから、強度等には全く影響ないと思われるので、特に対策工法をとる必要もないと判断した。

ところが、会計検査でこのクラックが問題になってしまった。発端は赤チョークである。点検時のものを消さずに会計検査を受け、調査官に見つけられ、その後も厳しく追及されてしまったのである。(K.I)

レオちゃんの製品紹介コーナー

◆◇ 自立型ブロック　レベロック ◇◆

こんにちは！ ライオン通信のレオちゃんです！

今月は、先月に引き続き**自立型ブロック『レベロック（水平積大型ブロック）』**をご紹介します！
レベロックは、河川護岸・道路・造成など様々な場所に使用できます。
間知ブロックに比べ多くのメリットがあり、また、現場打ちに比べ施工スピードが早く工期短縮になる製品ですので、災害復旧工事にも役立ちます。

今回は、レベロックの特長と施工事例をご紹介します♪
復旧工事の参考に是非ご覧ください＾＾☆

特　長

◆ 優れた構造安定性！

ブロック練り積み擁壁としての壁体重量、一体性、コンクリート強度等は標準設計と同等以上となっているので、一般的な積ブロック（間知ブロック）と同様の使用が可能です。
構造は、**製品同士が凹凸でかみ合う事により、他のブロックよりさらに安定性が増します。**

◆ 施工が簡単、安全、早い！

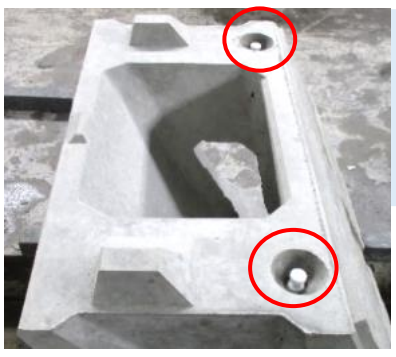
ブロック自体に勾配がついており、水平に設置するだけなので、熟練工でなくても**簡単･安全に短期間で施工が可能です。**

◆ 優れた経済性！

製品のサイズが１平方メートル/個と大型なため、重機施工となり、積みスピードが大幅にアップします。

◆ あらゆる環境にマッチ！

ブロック表面の模様は、自然景観にもよくなじむ石模様です。



天端部分には、吊り用アンカーが２個ついているので、水平設置も楽にできます。

基礎コンクリートの代わりに基礎ブロックを使用することで、現場打ちが不要になり工期短縮につながります。

【レベロック　歩掛かり表】　　（10m² あたり）

材　料	規　格	数　量	単　位
レベロック	35 型	10.00	個
一般世話役		0.10	人
ブロック工		0.30	人
特殊作業員		0.10	人
普通作業員		0.30	人
ラフテレーンクレーン	25t 吊	0.20	日
胴込コンクリート		1.78	m³
諸経費		4	%

Bタイプ（縦半）
参考重量
255kg

Aタイプ（標準）
参考重量
435kg

Cタイプ（横半）
参考重量
205kg

基礎ブロック
参考重量
365kg

明度証明書

平均明度　6.0

〈明度証明書　取得済〉

施工事例

全ての製品にかみ合わせ部分があるので、スムーズに設置可能です！

工事名：藤屋川小規模砂防工事　（伯耆町）

約２５０㎡分の製品を納品しました。
Ｂタイプ（縦半）やＣタイプ（横半）を使用することで
天端の高さを気にすることなく施工が可能です。

工事名：下ノ川承水路改築工事（２工区）　（境港市）

両岸あわせて約５５０㎡分の
製品を納品しました。
継続の現場で、２０２１年に
前の工区でもレベロックをご
使用いただきました。
基礎ブロックを使用している
ので現場打ちが不要となり、
工期短縮に役立ちました。

施工済現場

◆◇　編集後記

今年も残暑が厳しく、９ 月の終わりになっても 30 度を超える日もありましたが、１０月に入り
やっと秋らしい気候になってきました。
今月も先月に引き続き『レベロック』をご紹介しました。
レベロックだけではなく、他の製品でも災害復旧関係のお問い合わせをいただいています。
皆様に役立つ情報や製品を次号もご紹介していく予定ですので、是非ご覧ください。　（土田）

<URL>http://www.kooge.jp/　　<e-mail>info@kooge.jp